

うの家で手作り味噌作り講座



酒蔵で味噌作り おいしく健康に日本の伝統を学ぶ

近江米の糀と滋賀県産の大豆を使用した、伝統的な製法の味噌づくり教室。柔らかく炊いてすりつぶされた大豆に、糀と塩を加えて混ぜ合わせ、団子状にして詰めていき、空気をしっかり抜いたらカラシで殺菌し、教室は終了。「以前参加したが、おいしくてすぐなくなった」と親子3代で参加した人も、「半年後の出来上がりが楽しみ」と参加者は話していました。

2月3日 | 守山宿・町家“うの家”

令和5年度 自主教室のつどい



展示や舞台、お茶席も 1年間の活動の成果を発表

市内の地区公民館などで活動している自主教室のうち22教室が、展示や舞台、お茶席などで日頃の活動の成果を発表しました。訪れた市民は工芸や伝統文化などの展示作品に見入ったり、子どもから高齢者まではつらつと演じる舞台を観賞したり、ほっこりと抹茶を飲んだり、思い思いに楽しみながら興味のある教室と交流していました。

2月2日～4日 | 市民ホール

MORIYAMA モルックフェスティバル



シンプルながら奥が深いルールにはまる人続出 モルック体験型イベントで楽しい1日

モルックは、数字が書かれた木製のピンに木の棒を投げて倒し、その本数や数字を足した合計がピッタリ50点になれば勝利になる競技です。家族連れなど参加者約80人が、選手の一投一投に注目。結果に一喜一憂したり、チーム丸となって勝利を喜んでいました(守山市文化体育振興事業団主催、各総合型地域スポーツクラブ主管)。

2月3日 | 市民体育館

UP STREAM DAY



起業家の集まるまちを目指して 滋賀のスタートアップ機運を盛り上げる

起業家の集まるまちを目指して、県や守山市出身の起業家、企業、支援機関、行政などが「つながる機会」「知る機会」として開催し、約200人が参加しました。市内高校生の多田 智大さんの津軽三味線でスタート。基調講演やトークセッション、スタートアップ企業によるプレゼンテーションなどで、起業を応援する機運を高めました。

2月3日 | 市役所 多目的ホール



守山市の人口

令和6年1月31日現在
(前月比)

人口	85,819	(- 47)
男	42,254	(- 20)
女	43,565	(- 27)
世帯数	34,900	(- 34)

祭りとは全く縁の無い家庭で育った。そんな私にも7年前に娘が生まれ、ついに雛祭りというものに縁ができた▼義理の両親に買ってもらった雛人形を、妻と一緒に人生初めて飾り付け。不器用な私は小さな飾りを壊さないようにと必要以上に肩に力が入ったものだ。飾り付けが終わった雛人形を娘が不思議そうに眺める姿が愛おしい▼そんな娘も小学生となり、一緒に飾り付けができるようになった。娘の隣には、雛人形の横に飾るひなあられを狙う弟の姿も。準備と片付けは大変だが、雛人形の前は自然と家族が集まる場所になる▼あと何年、皆と一緒に飾り付けができるだろうか。娘が年頃になるまで片づけの時期を少し遅らせようかと企む私が、7回目の雛祭りを迎えるまであと2日。



男三人兄弟の三男として生まれ、女の子の節句である雛祭り